

環境保全活動の取り組み

～地域やお取引先とともに地域環境や自然を守り育てる活動に取り組んでいます～

山陰合同銀行グループは、社会の健全な発展なくして存続できないこと、持続可能な社会の存続が基盤であることを自覚し、社会とともに歩む良き市民として、自然豊かな環境を次世代へ引き継ぐため、積極的かつ継続的に環境保全活動に取り組んでまいります。

環境負荷の低減に関する取り組み

当行では、省資源・省エネルギー・リサイクル活動の推進により、事業活動における環境負荷低減に努めています。

● 省エネ意識の向上

省エネ節電対策等を要請することにより、行内の省エネに対する意識を高めています。

● 省エネ・環境配慮型製品の導入

空調設備、LED照明、太陽光発電、電気自動車等の省エネ・環境配慮型製品を導入しています。

● ペーパーレス化・リサイクル

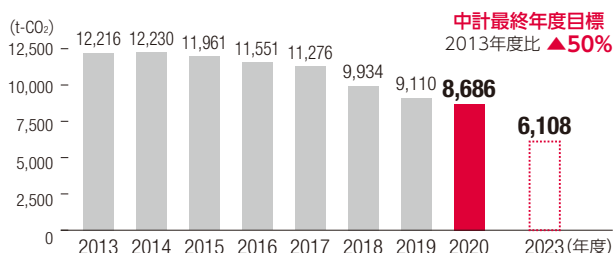
行内文書の電子化やコピー・印刷の削減等によりペーパーレス化を進めています。また、廃棄文書のトイレットペーパーへのリサイクル、ゴミの固形燃料原料へのリサイクル等を実施しています。

■ 温室効果ガス(GHG)排出量・エネルギー使用量・電力使用量

計測項目		単位	2018年度	2019年度	2020年度	
CO ₂ 排出量	Scope 1 (直接排出)	重油、灯油、軽油、ガソリン、都市ガス、プロパンガス等	t-CO ₂	1,324	1,324	1,457
	Scope 2 (間接排出)	電気	t-CO ₂	8,610	7,786	7,229
	合計 (Scope1+Scope2)		t-CO ₂	9,934	9,110	8,686
エネルギー使用量合計 (原油換算)			KL	3,855	3,747	3,836
エネルギー使用量合計			GJ	149,435	145,226	148,669
電力使用量			千KWh	12,842	12,399	12,522

■ 温室効果ガス(GHG)排出量の推移と目標(Scope1&2)

当行は2023年度のCO₂排出量削減目標を「2013年度比50%削減」と設定し、日本政府が掲げる2030年度目標「2013年度比46%削減」を前倒して取り組み、早期のカーボンニュートラル実現に貢献していきます。2020年度は、2013年度比、約28.9%削減しています。



地域と連携した環境保全活動

「ふるさとの自然を守る」「一人ひとりが、できることをできる範囲で継続する」という理念のもと、地域の皆様と一緒に、森林を育み、次世代につなげていく活動を行っています。

森林保全活動

「ごうぎん希望の森」(2006年～)

鳥取・島根両県の6カ所の森林で、当行の役職員や家族による実践的な保全活動を実施しています。

森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議

山陰両県のボランティア団体やNPO法人等を会員とするネットワーク組織。当行が事務局を担い、山陰両県内に森林保全活動の輪を広げる取り組みを行っています。



ごうぎん希望の森 分布MAP



金融商品・サービスを通じた環境保全活動

再生可能エネルギー分野での取り組み

環境への負担が少なく、枯渇の心配がない自然の力から創る再生可能エネルギー事業参入をサポートしています。大規模な再生可能エネルギー案件に対しては、シンジケーション方式のプロジェクトファイナンスの組成を行っています。

J-クレジットの活用支援で当行独自の取り組みを展開

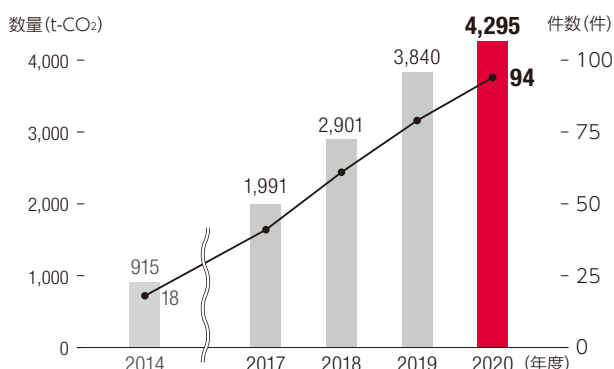
温室効果ガスの排出削減量や森林整備等によって増加した温室効果ガスの吸収量に環境価値を持たせた、J-クレジットの活用支援に長年取り組んでいます。積極的なJ-クレジットの販売支援、売買契約仲介により、「気候変動対策」や「豊かな森の保全」だけでなく、お取引先の環境活動の支援・企業価値向上を通じた持続可能な事業への支援を目指しています。

J-クレジットの普及・仲介への支援

J-クレジット制度の普及とカーボン・オフセットの推進のため、鳥取県独自の「J-クレジット地域コーディネーター制度」創設を支援しました。兵庫県養父市でも同制度を導入いただき、当行の広域店舗ネットワークを活用した販売支援を行っています。

さらに、J-クレジットの創出に向けた協議を行っている地方公共団体もあり、J-クレジットの川上から川下まで一貫してサポートしています。

J-クレジット販売支援実績(累計)



取組事例 「SDGsグリーンローン」への参加

～鳥取県営水力発電所再整備・運営等事業～

2020年7月、三井住友銀行がアレンジャーとして組成した鳥取県営水力発電所再整備・運営等事業向けの「SDGsグリーンローン」(シンジケーション方式のプロジェクトファイナンス)に参加しました。

この事業は、運営開始から約50年が経過している鳥取県内の4水力発電所について、民間事業者の有するノウハウや創意工夫を積極的に活用することで、発電所の長寿命化や効率的な運営維持の実現、民間への市場開放に伴う地域経済の活性化、再生可能エネルギーの固定価格買取制度や発電事業全体の効率化を通じた県利益の最大化を図ることを目的としています。

また、本ローンは、資金使途を環境面に配慮した事業への用途に限定したグリーンローンとして、外部評価機関である(株)格付投資情報センターのグリーンローン評価「R&Iグリーンボンドアセスメント」において、最上位評価となる『GA 1』を取得しています。

ローン概要

事業者	M&C鳥取水力発電株式会社
出資者	三峰川電力株式会社(丸紅株式会社100%子会社)、中部電力株式会社、株式会社チュウブ、美保テクノス株式会社
総額	約157億円(SDGsグリーンローン部分)
契約締結日	2020年7月31日
アレンジャー	三井住友銀行
参加金融機関	山陰合同銀行 ほか10行